

高田短期大学通信

TAKADA JUNIOR COLLEGE

2009年(平成21年)6月17日 発行 高田短期大学・編集 図書委員会 第44号

親鸞聖人と 「柔らかな心」

学長 栗原 廣海



二百四十名の新入生の皆さんを迎えて、平成二十一年度がスタートしました。少子化が進み、学生確保に苦勞している大学・短大が多い中、本学では、子ども学科とオフィス情報学科に、定員を超える新入生の皆さんを迎えることができました。人間介護福祉学科は、定員には少々届きませんでしたが、今年は念願の、中国内蒙古自治区からの留学生を八名迎えることができました。

これはひとえに日本・内蒙古文化交流協会の皆さんの、日蒙両国の文化交流への熱い思いと、交流促進へのたゆまぬご尽力のたまものと、心より御礼申し上げます。他にも、中国人の留学生三名がオフィス情報学科に、一名が人間介護福祉学科に入学しています。

学生の皆さんは、お互いに積極的交流を図り、親善を深めるとともに、異文化の交流をとおして、お互いに国際的な感覚を身につけてほしいと思います。

さて、登学時、本学の坂(いつからか、親鸞坂と呼ばれています)を登り切ったところで、皆さんは親鸞聖人像【写真】に出会いますね。本学に親鸞聖人像が建てられているのは、本学が「仏教精神に基づく人間教育」を建学の精神とし、親鸞聖人の教えに基づいて、「やわらか心」の社会人を育成することを教育の理念に掲げて教育を行っている大学であるからです。そこで私は、入学式の式辞の中で、登学時と下校時には是非一礼し、挨拶をしてくださいと言いました。実行していますか。貴い人に頭が下がる人は、謙虚な、薫り高い人格をそなえた人であると思います。

では親鸞聖人とはどのような方なのか、紹介しましょう。聖人は平安末期の承安三年(一一七三)、公家の日野有範(ありのり)という人の息男として誕生されました。九歳という幼少の身で出家され、仏道を歩むことを決意されます。そして間もなく、当寺の仏教の中心地、比叡山へ登られ、二十年、天台の学問と修行に励まれました。

しかし、どれだけ修行に励ん

でも心を明るくすることはできず、以後の歩むべき道を求めて、当時の多くの人々の信仰の場であった六角堂への百日参籠(さんろう)を志されました。参籠九十五日目の晩、聖徳太子のお告げを得られ、聖人は比叡山の僧侶の身を捨てて、京都東山の一角の草庵で説法をしておられた法然上人(ほうねんしょうにん)の教えを受けられることになりました。その教えは、念仏を称えるだけで、身分の上下を超え、老若男女、あらゆる人々が平等に阿弥陀仏に救われる。なぜならそれが阿弥陀仏の願いであるからだ、との教えでした。聖人は、この教えをとおして「念仏させてたすけたい」との阿弥陀仏の願いに身をゆだねられたのです。三十五歳のとき、念仏が当時の為政者によって弾圧され、聖人は越後国(新潟県)に流罪とな

ります。勅免の後、四十二歳のとき、常陸国(茨城県)へ向かわれ、主に関東で約二十年間、多くの人々に布教されました。その結果多くの門徒が誕生し、真宗高田派の基盤が形成されました。その後、京都に帰って著述に励まれ、弘長二年(一二六二)九十歳で遷化(せんけ)されました。聖人のみ教えである念仏には、「私が放つ光に包まれたものは、貪りやいやかりや、愚かさの三毒の煩惱が消えて、身や心がやわらかくようにしましょう」という阿弥陀仏の願いが込められています。この願いを確かにいただき、聖人への尊崇の思いを大事にして、「やわらか心」を身につけた保育者、介護福祉士、オフィスワーカーを目指してください。教職員一同、皆さんの学生生活を精一杯サポートします。





教学部の設置

教学部長

伊藤 茂一

本学は、自然に囲まれ恵まれた環境と充実した施設で、学生の一人ひとりが各々のスタイルで学び、目標達成への実現に向け、楽しいキャンパス生活を送っていただけよう努めています。

短大の行事は、宿泊研修で始まり、高短祭などの行事やクラブ活動やサークル活動など学生主体の活動があります。他に、仏教行事、海外研修旅行などの経験を通して、様々な人と出会いふれあいながら多くのことに挑戦して、自立に向かう学生づくりが展開されています。

学びでは、子どもの発達を理解し成長を育む現代社会のニーズに対応した保育のスペシャリストをめざして学んでいる子どもも学科、人間の福祉を従来の社会福祉の枠にとらわれず、環境、いのち、心の問題などを通して考え、心身両面の介護に精通した専門的な介護福祉士をめざして学ぶ人間介護福祉学科、様々な企業のオフィスで活躍できる有用な人材となることをめざし、

学生一人ひとりの能力をレベルアップして、「あなたでなければ」の専門知識を培い、社会に貢献できるよう学んでいるオフィス情報学科があります。

このような短大生活で、学生の皆さんがさらに充実し、自己実現できるよう、本年度より教学部が設置されました。教学部は、まさに「縁の下力持ち」で、学生の皆さんの入学前から卒業後までの総合的な支援ができるよう進めていきます。

教学部には「広報入試課」「学務課」「学生支援センター」があり、「広報入試課」では本学の教育理念を地域に広報活動をして、この理念に共感するモチベーション溢れる学生の入学を勧めていきます。「学務課」では、教育理念に基づくカリキュラムや学生生活向上に向けた教育プログラムを充実させていきます。「学生支援センター」は、学生が学生生活をスムーズに送れるよう学内での健康管理、学生相談室、アパート・下宿の紹介などを行うとともに、キャリア支援室で、就職支援を中心にキャリアデザインをサポートをし、卒業後に至っても同様なサービスができるようにしていきます。このようなことから学生の皆さんが、主体的に行動し、各自の希望がかなう二年間となるよう努めていきます。

平成21年度 新入生宿泊研修

学務委員長 畠山 義啓

新入生のみなさん、宿泊研修はいかがでしたか？四月二十三日、二十四日の二日間、「白山ヴァレージゴルフ倶楽部」で実施しましたね。そこで、この宿泊研修がどのように企画されてきたのか紹介してみたいと思います。実は、この研修は、学務委員会という学生のみなさんの生活と学業を支援する委員会です。現地へ下見も行っています。そして、その役割分担は以下のとおりでした。

【学科企画】

各学科の企画は学科単位で教員のアイデアを活かして考えられています。そして、企画の基本は、通常の授業ではできない内容であること、学生のみなさんが二年間の学習に自信を持つて取り組む元気が生まれる内容であることです。そして今年各学科で実施されたのが、子どもも学科は、「すてきな保育者になるために」、「つくって・あそんで・みせて2009」、人間介護福祉学科は「お互いを知ろう」、「オフィス情報学科は「未来予想図」みんな考えて、

みんなが築こう私の将来・みんなの未来ーでした。

【パターゴルフ】

パターゴルフは、学務委員会の教員と学務課職員が企画と準備をしてきました。学生、教員でいくつのチームに分かれてどのような順序で回るのが考えられるのが大変でした。もちろん、屋外での競技ですから雨天の企画も考えてきました。研修日は好天に恵まれ、パターゴルフが始めての人が多かったにもかかわらずみなさんには熱く燃えていただくことができました。

【しおりの作成、食事のコーディネートなど】

学務委員会に提案された内容を取りまとめ、しおりを作成するのは、学務課職員が担当しています。食事はとても好評でしたが、その食事のメニューについて交渉してきたのも学務課職員です。その交渉のモットーは、絶対においしいこと、量の不足は許さないということです。そして、研修当日は、バスの



乗車整理、研修会場、食事会場のチェックなど学務課職員だけでなく事務局長をはじめ



めとして多くの事務局職員がサポートしてしました。

以上が大まかですが新入生宿泊研修の企画、実施の舞台裏です。宿泊研修、ゴルフデンウィークが終わるといよいよ本格的な学業生活のスタートです。大学は前期、後期の二学期間です。この学期に合わせて目標を立てるとよいと思います。将来の目標が定まっている人は、そのために前期四ヶ月、後期四ヶ月間で何をやるのか、まだ将来の夢が決まっていない人は、四ヶ月間に何ができるようにしたいのかを明確にし、努力してください。困ったことやどのように目標を立てればよいのかわからないときには、私たち教員に相談してください。私たちの大きな願いは、みなさんが成長してこれからの社会を担っていただくとことです。実は、宿泊研修もそのような私たちの願いを実現するための最初の一步だったのです。

オーストラリア海外英語 研修に参加して



オーストラリアで学んだこと

子ども学科 2年 山本ゆづ子

今一番思うことは、「参加してよかった。」ということです。

最初は不安でしたが、ホストファミリーも学校の人たちも、皆やさしく、ゆっくり英語を話してくれたり何回も言ってくれたりました。それでも、相手との言葉のキャッチボールは難しかったです。しかし、だからこそ相手の英語を聞き取り、理解し、自分の思いを伝えることができたときの喜びはとても大きかったです。それと同時に伝えよう、聞き取ろうとする気持ちの大切さを知りました。今回、オーストラリアに行つて、言葉や習慣、食、文化の違いを肌で感じることができました。オーストラリアの広大な自然や星空は日本では見られないすばらしさでした。しかし、それと同時に、日本の豊かさや良さも知ることができました。違う視点から自分の住んでいる国を見ることは新鮮だし、面白いと感じました。また、英語研修を通して、苦手だった英語に対するイメージも変わりました。英語を話すことの楽しさ、おもしろさを知りました。そして今、もっと英語を話せるようになりたいと強く思



います。この研修中、私は毎日笑顔で生活していたと思います。それくらいとても楽しかったです。そしてとても勉強になりました。私にとって貴重で、大きな経験でした。

オーストラリアにふれて感じたこと
オフィス情報学科 2年 野呂 好香

ホームステイ先の家族の人達はとても気を遣ってくれて、紙を見ながら少し日本語で話してくれたりして、そういった振る舞いがとても嬉しかったです。最初はあまり自分から話したり聞くことがうまくできなかったのですが、二日、三日経つてくると、話していることが解つたり、自分から話したりする力がついてきているのが実感できるようなりました。ホストシスターのアレックスとはいつも遅くまで、いろんな話をしたり、日本のミュージシャンの曲を

気に入ってくれたので、アレックスも日本語で歌えるよう、二人でパソコンで歌詞を打ち直し、一緒に歌ったり録音したり、ホストのお父さん、お母さんに聞いてもらったりしました。そうして一緒に生活する中で、もっと話したいという気持ちから自然と自分から英語を調べる事ができるようになりました。また、学校生活では、日本の教育制度との違いに驚かされる事がたくさんありました。生徒の興味にあわせてたくさん種類の科目があり、何事にもとても自由なイメージを受けました。こうでなければならぬ、という考えがなく、否定しないところがすごくよいと思いました。私もこの体験を活かして、何事にも自由な考えを持ち、自分からどんどんチャレンジできるような人になっていきたいと思いました。



交通安全講座



津警察署による交通安全講座及び護身術の実技指導が本学体育館にて行われ、学生約三百人が参加しました。

生活安全課の防犯アドバイザーが一人暮らしの女性を狙った事件を紹介し、「二階に住んでいても、玄関以外の鍵もかけてほしい」と呼びかけました。護身術は交番に勤務する女性警察



官四人が指導しました。学生たちは腕を掴まれた時に、親指をつかんで体を突き放す「親指どり」や、相手の手首を返して身をかわす「小手返し」等の技を学びました。

健康講座



最近の小・中学生の体力低下は、子どもを取り囲む社会状況が大きく変化したことが誘因になっていると言われています。体力の基礎を育む時期に、テレビ・パソコンでの一人遊びや車での移動の増加などが、子ども達から「生きる力」も奪い取っているのでしょうか。

そのような環境で育ってきた学生と全教職員も加え、年一回、十月下旬～十一月上旬に、「心

身共に、より健康に」をテーマとして、外部専門家を招いて講演・実演をして頂いています。今までに、薬物乱用・性感染症・リラクゼーション・エアロビック・生活習慣病・自分らしさ・性と健康・薬物依存などがあります。

真剣に聞き入ってしまった、笑ってしまった、身体を必死に動かしたりと、毎年楽しく健康の大切さを感じる内容です。今年の内容については、未定ですが、身近な問題を、解決する一つの方法として情報提供していきたいと考えています。ご参加をお待ちしています。

キャンパス キューブの紹介

子ども学科 2年 松本有梨花
人間介護福祉学科
2年 坂本由里香

キャンパスキューブは、三重県内の大学が連携して情報発信していく県内の大学生と地域を結ぶ二十五分間のラジオ番組です。現在参加している大学は、三重大学、皇學館大学、高田短期大学です。番組の内容は、まずオープニングがあり、そして次のコーナーの中では自分たちが決めたテーマについて意見や考えを喋ったりします。テーマは今注目されていることなどを取り上げ大学生の視点から自由に発言します。エンディングでは、各大学の行事などを紹介します。

この番組は、なによりも私たち自身が楽しみながら作り上げ



ています。ラジオを作る立場に立ってみて、知らなかった裏側を見たり、ラジオに関わるたくさんの人に出会うなどとても貴重な経験をさせていただいています。これからも聞いていただいている方が楽しめるような番組を作っていきたいと思っています。みなさんもぜひ一度聞いてみて下さい。

「Campus CUBE」放送日
レディオキューブ
FM三重
毎週金曜
午後8時30分～55分まで



平成十一年に津署管内で市内の十二の自治会が地域安全部会として発足され活動しています。

高田短期大学は街頭犯罪抑止対象地域内にありますので、津警察署の依頼を受けて、「安全で安心できる学校生活」の実現を目的として、平成十五年二月二十六日に、地域安全部会「セーフティたかだ」が結成されました。結成式は高田短期大学で行われ、津警察側（署長外十四



名、学校側（学長以下八名）と自治会役員（地域安全部会員）七名が参加し「セーフティたかだ」の自主防犯活動が始まりました。

活動内容は、犯罪発生情報の提供・女性の安全確保活動・交通事故防止活動・暗がり危険箇所点検活動等毎月一回程度学生の下校時にコースを決め、学校周辺の通学路で安全の呼びかけをしています。また、平成十六年六月二十八日に津安芸防犯協会定期総会で、防犯活動の成果に対し表彰を受けました。現在、津警察署と自主防犯団体との意見交換や、「犯罪のないまちづくり」の仕掛け人として必要に応じて連絡調整を図る役目となっています。

学生自治会

こんにちは。執行部十二人です。よろしく申し上げます。四月二十七日に執行部十二人が集まり、今年度の行事に向けて活動が始まりました。そして毎週の会議では各学科のリーダー達と共に、楽しく学生生活が送れるよう意見を出し合っています。

私たち執行部の活動は、先輩方と取り組んだTJC祭から始まりました。そして、学生生活の一大イベントである高短祭に向けて、動き始めています。これから先いろんな事があると思いますが、十二人の力を合わせてみなさんの協力と共に取り組みたいと思っています。また、



より良い学校生活が送れるように日々頑張っています。

ここで、私たち執行部が活動している内容を紹介します。

① 学生自治会の年間業務の企画・予算

② 「高短祭」の計画、実施

③ 卒業アルバム編集

④ 謝恩会の企画・実施

⑤ クラブ部長会議・学生大会・自治委員会の開催

⑥ 「セーフティたかだ」での地域安全活動

⑦ TJC祭の企画・実施などです。

学生生活一大イベントの高短祭は、今年で四十四回を迎えます。日程も十月二十四日（土）二十五日（日）と決まっています。昨年までの良かった点、悪かった点を踏まえ、みんなで楽しめる企画を考えていこうと思います。みなさんも何か要望や案があれば、気軽に自治会役員に声をかけてください。当日は、先生方や地域の方々、子どもたちと一緒に楽しみましょう。

就職活動も始まり、これから忙しい日々が続きますが、悔いの残らないよう部活や勉強など自治会活動も含め両立していきたいと思っています。

様々な企画・実施を執行部は行いますが、みなさんも一緒に素敵な短大を作っていきましょう。



今回は学科長と学生との対談から、本学科の「夢と笑いの学びの場」の実態を探ってみました。

【下記写真右から】

武田あずさ・菱木俊輔（一年・三宅啓子学科長・松井理恵（二年）

―入学後一ヶ月経った感想は？

菱木「僕は男だから不安もあったけれど、実際はすぐに周りと一緒に仲良くなれて気楽に色々なことに挑戦できると思いました。」

武田「高短は皆が挨拶して先生もいつも笑っているから私も無意識に笑顔になれます。卒業の頃は笑顔でいっぱいだと思う。」

―子ども学科の授業で、楽しいことや努力していることは？

松井「幼年文学は高短でしか学べない科目で面白いですよ。」

武田「私はピアノで初級コースを選んだのですが、周りの人はとても上手で…。今は毎日一時間練習しています。卒業までには弾けるようになりたいです。」

菱木「あと、高短はどこでも先生と触れ合えて相談しやすいです。」

す。研究室にも気軽に行けるし、何でも話せて嬉しいですよ。」

三宅「個人だけではなくグループにも応じたピアノ指導は高短の特色です。先生と学生の信頼関係も大切にしています。キーワードは『一致団結』。先生達も学生も仲間と高め合うこと。一緒に学び合うことを大切にしています。」

―行事はどんなことが楽しい？

松井「宿泊研修の作品作りや高短祭は、ゼミの仲間と力を合わせる機会が多く、チームワークの大切さを感じました。」



武田「高短祭は二年連続で来ていました。今年は自分がやる側だから今から楽しみです！」

―実習はどうですか？

松井「実習は大変だけど乗り越えた時にとっても達成感があります。終わると自分が変わろうと新しい目標ができますね。」

三宅「子どもの前では、聴き上手・話し上手・愛情・努力・そして夢を持っていることが大切です。あなただからこそできる保育を、つまりナンバーワンでなくオンリーワンを大切にできる人になってほしいですね。」

―その他の環境はどうですか？

菱木「サークルも充実しているみたいだから興味がありません。」

武田「都会の大学はお金を掛けて構内に植樹をするみたいですが、ここは自然が多くて桜も緑もきれいで心が和みます。」

―最後に学科長から！

三宅「特に大切にしてほしいことは、①保育への夢と憧れと情熱、②保育者としての専門的力量、そして③人としての魅力と深みのある人間性です。夢と笑いに囲まれながら学びあう楽しさを存分に味わって下さいね。」

お知らせ
テーマ「健やかな成長を支える保育」
（新幼稚園教育要領・改定
保育所保育指針を受けて）
日時 平成21年7月12日（日）
午後一時三十分

高田短期大学に入学して



子ども学科 1年
山田 静佳



親子に関する研究をしていると、親の気持ちと子どもの気持ちのちがうのも大きくずれているというのを常々実感します。

親は自分の子どもに幸せになつて欲しいと願うあまり、自分が苦労してきたことは少しでも最短距離で次のステップにいかせようとしてしまいます。そのことで子どもはその発達過程において経験しなければならぬ大切なことを経験せずに過ごしてしまっています。

確かにその方がことは早く進むし無駄はないでしょう。しかしその結果、本来子どもが自

分で試行錯誤をし、時には失敗しながら学んでいくという大切な発達過程での経験を奪ってしまふことになりかねません。

過保護とは、親が手取り足取り子どもの代わりとなつてやつてしまふことで、過干渉とは、親が子どもの頭になつて子どもに代わりを考えることを言いますが、たくさん親がそんなことを知らず知らずのうちにやっているようです。

でも、子どもはやつてもらふことよりも、ノウハウを教えてもらうことよりも、一緒に考え、困ったときにそつと手助けになつてくれる、そんな頼もしい親を本当は求めています。

親がゆとりをもつてゆったりと待つ。そんな中でこそ子どもは本来持っている力を発揮し、成長していけるようです。

高田短期大学に入学して、約一ヶ月が経ちました。とても早く感じます。最初は緊張や不安もありましたが、少しずつ慣れて新しい友達も増え、今は充実した短大生活を過ごしています。私は五歳の頃から保育者になりたいと思い始め、この子ども学科に入学しました。資格を取るための本格的な勉強が始まり、大変だと感じる以上に、夢に近づいている嬉しさが大きいです。二年間という短い期間ですが、

勉強だけではなく人として大きく成長していきたいと思っています。また今しかできないことに積極的にチャレンジして、後悔のない毎日していきたいです。そして、これから出会うたくさんの人との時間を大切にしていきたいです。

卒業する時には夢を叶え、みんなが笑顔でいられることを目標に、これからも自分らしくがんばっていききたいと思っています。

人間介護福祉 学科コーナー



学校生活について

高田短期大学には人間介護福祉学科があることを知っている人は少ないです。二年生十四名、一年生十九名と少人数ですが、千草学科長を中心として、和やかな科となつています。そして、その事で、大きな利点があります。



一つは先生や学生間で、お互い気心が知れて皆が和気あいあいと話ができます。また、実技演習でも、困った時には気軽に相談できる環境で、皆が楽しい生活を送れています。

二つ目として、ボランティア活動・学校行事の時など、皆が一致団結して行事に取り組みます。本学科はボランティア活動やイベントに積極的に報徳園交流会や留学生歓迎会以外にも様々な活動を行なっています。



千草篤磨学科長

また十月に行われる高短祭(高校で言う文化祭)にも人

数が少ない分、皆が協力して、作品を作り、頑張っています。

留学生歓迎会

本学科の学生は、四月十二日に開催された日本・内蒙古文化交流協力三重県本部主催の激励会に参加しました。本学科では今年初めて内モンゴル自治区の留学生八名が入学し、我々と交流しました。激励会では日本のよさこいと本学科の二年生が作詞・作曲した高短歌を披露しました。当日の司会・進行も二年生が主となり、なごやかな雰囲気の中でも、私たちは会場を盛大に盛り上げました。昼食は、日本の和食を中心とした料理が出され留学生と共に楽しいひとときを過ごしました。当日は、モンゴル舞踊が披露され、私たちも感動し、あつという間に時間が経ちました。この激励会から留学生の皆さんは、短大生活への新たなスタートを切りました。



留学生歓迎会記念写真

報徳園交流会

四月十九日、特別養護老人ホーム「報徳園」にて人間介護福祉学科二年生一〇名、二年生八名計十八名が交流会を開きました。



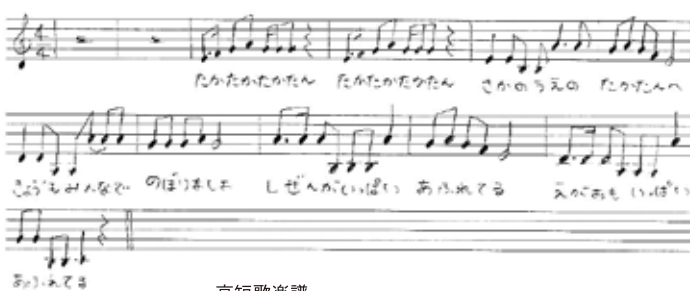
報徳園交流会風景

二年生が主となり企画し、飾りやレクリエーションの道具も作りました。

留学生歓迎会でも歌った「高短歌」人間介護福祉学科ヴァージョン」を、ピアノの伴奏付きで披露しました。

テーマは「春を感じよう」ということで、春に関連した飾りや、三色団子に見立てた玉入れゲームで楽しんで頂きました。我々が頑張つて練習して覚えたよさこいは、私たちの若さが利用者の方々に伝わって喜んで頂くことができました。最後の手話付きで歌った「ふるさと」では、利用者の方々からアンコールの声も出て、利用者の方々も私たち

学生も、楽しい時間を過ごすことができました。以上、私たち二年生の視点で、相談しあつて書きました。

高短歌楽譜
(人間介護福祉学科ヴァージョン)

研究余滴

認知症
高齢者ケアの
質向上に向けて

長岡さとみ

高齢化の進展に伴い認知症高齢者の数も増加している。認知症は記憶と認知障害の進行から対人関係が困難となり、ケアの困難感の起因にもなっている。認知症高齢者のケアでは、高齢者の尊厳や主体性を尊重する方法が模索され、ケアの質向上は社会的課題でもある。そのため介護者が認知症高齢者を一人の人としてとらえケアできているかがとても重要となる。

介護者は認知症高齢者へのケア場面で、互いに影響し合いながら援助を行っているが、認知症高齢者をどのようにとらえるかがケアを行なう上での基盤となり、ケアの質に大きく影響を与えている。認知症高齢者へのケア場面から、ケアすることの意味を認知症高齢者との相互作用の中に見出せるような介護のあり方を研究し、認知症高齢者ケアの質の向上に努めたいと考えている。



オフィス情報学科の

新たなスタート



学科長

鷺尾 敦

平成二十一年度、オフィス情報学科は、厳しい社会情勢の中、定員を上回る入学生を迎えることができました。また、新たに三名の専任教員を迎え、新チームで学科運営に取り組むことになりました。新米学科長として責務の重さを感じつつ、三つの改善に取り組んでまいります。

一つ目は、「カリキュラムの改訂」です。前回の改訂から2年が経ち内容を見直す時期であること、カリキュラムの重要な位置づけとなるビジネス・キャリア教育を専門とする専任教員を迎え、新たな視点でカリキュラムを見直すことができることから、まずカリキュラムの改訂に着手したいと思っています。インターンシップを含めた実践的なキャリア教育、短期大学士

としての学士力の向上、学生の学習成果の活用など、取り組むべきテーマが多くあります。

二つ目は、「学習成果の見える化」です。学生の学習成果を「学習ポートフォリオ」として見える形で表現することで、学生の学習力向上と地域への成果の還元役に役立てていきたいと考えています。

三つ目は「授業改善」に取り組むたいと考えています。学習は個人の努力によるものですが、授業という同じ空間、同じ時間に学ぶ者同士の学び合いが大きな力となって個人の学習力を引き上げます。授業はチーム力です。チーム成功の鍵は、チームメンバーの参加意識であり、それには、教員の学生に対するファシリテーション力や授業のコーディネート力が求められます。個々の学生の主体性を掘り起こせた時、チームは大きな力をもちます。ゼミ活動の中で大きな力を生かした山口さんの記事をご覧ください。

このように各教員が個々の授業の改善に取り組むとともに、組織的にカリキュラム改訂、学習成果の活用などを進め、学科の教育力向上に努めたいと考えています。そして、さらに歩を進めるために関係各位からのご指導ご鞭撻をお願い致します。

短大生活1年が過ぎて

オフィス情報学科

2年 山口 恭子

入学してから一年間、あっという間に時間が過ぎていきました。私にとって忙しくも充実したとても実のある一年でした。その中で特に印象に残っているのは、ゼミでの活動です。

情報ボランティア活動にゼミ生全員が参加し、一年間「子どもパソコン教室」を地域の情報ボランティアの方々を合わせて運営してきました。私は、ゼミの代表として子どもたちの前で挨拶をしたり、講師をしたり、子どもとの横で援助したり、普段できないことを体験し、教えることの楽しさや難しさを学ぶことができました。

高短祭では、ゼミで高短生の恋愛観について調査発表し、焼き鳥の模擬店も出店しました。準備は大変でしたが、役割分担を決め、高短祭成功のために皆で一丸となり、楽しく進めることができました。準備段階から意見を交換していたことで、当日はお客さんを優先した対応をすることができ、完売したときは本当に嬉しく思いました。

この一年間のゼミでの活動を通して、私は仲間の大切さと、何事にも責任と感謝の気持ちをもち行動することの大切さを



大西 眞純

コンピュータは人間の命令を与えてやらなければ動きません。人間の意志をコンピュータに伝える技術のことを「マンマシインタフェース」と言います。キーボードやマウスは、人間の意志を、コンピュータに伝える最も一般的な手段です。その人間の意志を円滑に速やかに伝えることが出来るよう、タッチタイピング（キーボードを見ないで打つ技術）の練習をします。皆さんも、あいうえお順に並んでいないキーボードの配列に馴染めない、と抵抗感を感じたことはありませんか。◇最近

学びました。リーダーとして未熟な私に、みんながついてきてくれたからこそ自分も自信をもつて物事を進めていくことができました。そしてやり遂げた後の達成感を共に感じることで、自分自身も成長することができました。今年もリーダーとして、ゼミの仲間と高短祭をはじめいろいろな活動に参加し、悔いのない短大生活を過ごしていきたいと思っています。



「子どもパソコン教室」で講師をしている山口恭子さん

のパソコンには音声入力機能が備わっていますが、普段利用している人は少ないのではないのでしょうか。低い声、高い声、透き通った声、ガラガラの声、喋り方も千差万別です。◇先日、頭で考えたイメージどおりにロボットを動かす新技術を、日本の研究チームが開発したというニュースを見ました。人がものを考えるとき、脳では微弱な電流や血流の変化が起きます。脳波と脳血流のデータを解析することで、装置を使う人の意思を把握して人間型ロボットを動かすことに成功したというのです。◇しかし、人間は気が散ったり、興奮したりします。冷静沈着に意識を集中し続けることが出来るでしょうか。将来は座禅が入力の訓練になるかもしれません。

仏教文化 研究センター

センター長代理 采華 真澄

高田短期大学仏教文化研究センターは、現在栗原廣海センター長を中心に、特別研究員一名、研究員四名、客員研究員五名、運営委員四名で構成され、日々仏教文化の研究や公開講座の開催、高田短期大学の仏教行事の企画・立案などの活動を行っています。

特に本年度は、これまで議論を重ねてきた、「いかに当センターが地域の皆様方に貢献しているのか」という命題について、それを実行に移していく年になりたいと考えています。

・研究活動

個々の研究員が専門分野の研究を行うと共に、毎月一回研究会を開催しています。そこでは、一昨年に刊行することが出来た『翻刻 顕正流義鈔索引』を手

がかりとして共同研究を進め、『顕正流義鈔の研究』（仮題）の刊行を目指しています。

・仏教行事

本学では「宗祖降誕会」「灌仏会」「追弔会」「報恩講」と、年に四つの仏教行事を開催しています。この内「宗祖降誕会」「灌仏会」「報恩講」は、今後地域の方々に開放し、皆様にも「み仏の教え」に出会う機会をご提供していきたいと考えています。

ここ数年仏教行事では、学生有志による「聖歌隊」を編成して、行事の中で仏教聖歌を斉唱してもらうことを始めました。行事に華が添えられ、内外から大変好評を得ており、聖歌隊は行事だけでなく入学式や卒業式等の本学の大切な場でも活躍してもらっています。

なお、本年度の各仏教行事の日程は次のとおりです。

●宗祖降誕会（一般開放します）
5月11日（月）
14時50分～16時10分

●灌仏会（一般開放します）
6月8日（月）
14時40分～16時10分

●追弔会
10月19日（月）
14時40分～16時10分

●報恩講（一般開放します）
12月7日（月）
14時40分～16時10分



・公開講座

いよいよ目前に迫ってきました、親鸞聖人の七百五十回忌である御遠忌に向けて、高田本山専修寺や真宗を題材にした内容で準備を進めています。本年度の講座は次のとおりです。皆様のご参加をお待ちしております。

第1回講座

6月27日（土）

13時30分～15時30分

講師 梅林 久高

講題 「仏教歩いて再発見!! Parts 四季の花ー高田の御影堂に描かれている花鳥風月

その美と心ー」

第2回講座

7月26日（日）

13時30分～15時30分

講師 北島 恒陽

講題 「伊勢の真宗」

・仏教入門講座

本年度より、当センターの地域貢献の一環として、仏教に興味を持っている方々にその学びのきっかけをご提供したいとの

キャリア支援室

二号館の学生玄関右手にある「キャリア支援室」は、昨年度までの「進路室」が名称変更となりました。社会・経済情勢の急速な変化に即応し、求められる人材についての的確な情報を収集するとともに、学生の皆さん一人ひとりの個性や能力に応じた進路・適職探しをサポートしています。今後も、各学科の教育活動を基にして、社会からの厚い信頼と期待に応えられる高短生を送り出せるように、日々機能の充実に取り組みます。

カウンセリング室

昨年度より学外カウンセラーによる週四時間と、学内の心理学専門教員によるカウンセリングが始まりました。場所は二号館二階に、専門の部屋が設置され、予約制で対応しています。卒業生の方も在学生の皆様も、ちょっとした身の回りの出来事を一緒に考え、解決の方法を探していきたいませんか？より快適な生活が送れるように、皆様の知恵をお借りして、改善していきたいと考えています。よろしくお願い致します。

思いから、仏教入門講座をスタートさせました。

これまで行ってきた公開講座とは違い、毎月一回、全六回で一つの講座とし、開催場所も抜群のアクセス環境にあるアスト津（橋北公民館）をお借りして、本学のサテライトキャンパスのような存在にしていけたらと考えています。

講座の題材には仏典童話を取り上げ、取り組みやすく分かりやすい内容を目指しています。そんな思いからつけたテーマは「仏典童話を楽しむ」。おかげさまで講座は大変好評で、受講希望者が予定していた定員数をあつという間に越えました（次

の講座の受付は、九月頃を予定しています）。

・人形劇応援隊

本学には「仏教文化研究センター」と「育児文化研究センター」という二つの付属機関が存在します。その二つの機関が協力して、なにか地域貢献ができないものかという考えから、有志学生による人形劇団を編成して、地域の仏教系保育所・幼稚園に仏典童話を題材にした人形劇の出演を行おうという計画が持ち上がりました。メンバーもほぼ揃い、今後話し合いを行いながら人形劇の準備を進め、今秋にはどこかの園に出演を行いたいと考えています。

育児文化 研究センター

センター長 梶 美保

育児文化研究センターは、地域社会と連携して、大学での教育研究の成果を社会に還元して地域の諸問題の解決への協力、また保育・育児の諸問題や疑問等の解消のための協力機関として平成十六年十月に開設されました。幸いにも研究員・客員研究員の協力および地域の皆様のご理解、ご支援により活動の幅が広がり社会から期待もされるようになってきています。少々マンネリ化ではありますが、今回はスペースもありますので、あらためてセンター事業の概要を紹介し、平成二十年度「子どもの夢を育む地域支援プロジェクト事業」の報告をさせていただきます。

○センター事業の概要

育児文化研究センターの事業内容は、一つには、育児文化に関する研究と情報発信であり、「定例研究会」の開催、紀要「高田短期大学育児文化研究」、育児文化研究センターだより『IKUBUNNEWS』の発行です。二つ目として、研究員・客員研究員を県内各地に派遣する「出前講座」と子育て支援を目的とした活動に学生を派遣す

る「子育て応援隊」があります。平成二十年度は、外部からの要請に対して二十五回、述べ二百九十九名を子育て応援隊として地域に派遣しました。三つ目には、地域に密着した子育て支援事業であり、特にこの二年間は、子育て支援を目的とした活動に学生が学内外に活躍する「子育て応援隊」が子ども学科の総合演習ボランティア精神の活動とともに特色GP(特色ある教育支援プログラム)として採択されたこともあり過去最大規模の事業を展開しました。

○平成二十年度「子どもの夢を育む地域支援プロジェクト事業」

平成二十年度は、八分野、十七回の事業を実施し、六百七十五名の参加がありました。学内施設を開放しての事業として、0歳児のベビーマッサージや一・二歳児の手遊び・ふれあい



遊びが人気の「〇・一・二歳児子どもひろば」(四回)、食育の一環ともなっている「クッキング」(二回)、今年で五回目の開催となる自然体験と地域連携行事である「馬とふれあう親子フェスタ」(一回)、「絵本の読み聞かせ」(四回)があります。「絵本の読み聞かせ」は、昨年度からの開催で会場の育児文化室の絵本も充実してきました。本年度新規の「子育てママのホットひろば」子どもの自由遊びと育児相談(二回)は、昨今の母親のニーズにも合致したせいか大きな反響がありました。親の方が一生懸命に取り組んでいた「子どものための製作ひろば」親子でつくる手づくり絵本(二回)も新しい企画でした。学外で開催したものとして、妊娠からの子育て支援を意識して企画した「マタニティコン

サート」本物の音で感じる胎教コンサート(一回)があります。また、昨年に引き続き、県内五大学で開催されている次世代育成応援ネットワーク主催「子育て父親応援教室」の本学における取り組みは「楽しい子育てを支援するパパのためのベビーマッサージ体験とふれあい遊び」で二十三組六十五名の参加がありました。

育児文化研究センターは、地域の子育て支援の拠点として県内では数少ない保育者養成校であることもあり、保育者の研修や近年の子育て支援のあり方や保育実践のスキル・講演等保育現場からの要請も多く、施設開放による地域親子支援事業の拡大も期待されています。また、県内における様々な子育て支援活動と連携しネットワークができています。センターが開設されて五年半、地域社会の子どもに置かれている状況は刻々と変化しておりますが、センターも常に時代に敏感に反応し、子どもの最善の利益が得られるような地域づくりの一端を担っていく所存ですので、今後ともご支援・ご協力の程よろしくお願いいたします。



付属図書館

図書館では、子ども学科、人間介護福祉学科、オフィス情報学科での学びに必要な資料を中心に収集し、学生の皆さんの学習をサポートしていきます。ゆつくり読書できるスペースやAV・インターネットコーナーもありますので、気軽に利用してください。

一般開放しており、卒業後も利用できます。詳しくはホームページをご覧ください。

スクールバス 運行開始

津駅・大学間を、登校時・授業終了後に運行しています。



着任のみなさん

分別力を持つ
保育者養成



子ども学科

小田 義隆

選り分ける思考を持つているものが人間です。教育とは選ぶ力を豊かにし、励ますことだと思っています。ゆえに、多面的な考え方が身につくよう授業を心掛けていきたいと思っています。

着任にあたって



子ども学科

小池 はるか

昨年度九月に子ども学科に着任し、心理学系科目を担当させて頂いておられます。本学の教育に貢献できるよう微力ながら努めてまいり所存です。よろしくお願い申し上げます。

響き合う想いを大切に



子ども学科

上村 晶

幼児教育者論・実習研究を担当することになりました。子どもと関わる喜びを伝えながら、保育の本質を考え実践できる保育者の育成に努力したいと思っています。よろしくお願い致します。



高田学苑での
新しい出会い

人間介護福祉学科

中川 千代

人間介護福祉学科で生活支援技術、介護過程等を担当させて頂いたことになりました。介護を通して将来福祉分野で活躍できる若者が、高短から多く巣立ってくれるよう尽力します。

みんな、
前を向いて歩こう



オフィス情報学科

高木 直人

この四月からオフィス情報学科に着任しました高木と申します。少しでも高田短期大学で学ぶ学生みなさんの力になれるように頑張ります。何時でも気軽に相談に来てください。

地域に
求められる人材を
求めらる人材を



オフィス情報学科

杉浦 礼子

前職では、地域振興に関する調査研究のほか、人材育成・開発業務を担当しておりました。今までの経験を活かし、地域に求められる人材を本学から多数輩出できるよう努めて参ります。



一意専心

オフィス情報学科

田中 薫

四月より簿記会計の分野を担当させて頂いたことになりました。数字に強く、社会から求められる学生の育成に全力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

意欲、工夫、努力



事務局長

河北 浩峰

この四月から事務局長という大任をおおせつかりました。短大職員が一丸となって地域の学校として愛され、誇りに思っていたできるように努めて参りますのでよろしくお願い致します。

学生支援に
努めます



学生支援センター長

澤井 光次

高田学苑を母校とする私にとって本学に勤めさせて頂いたことは大きな喜びです。学生の皆さんの短大生活充実とキャリア支援について微力を尽くしてまいります。



新任にあたって

事務局総務課

小坂 奈央

四月より総務課で勤めさせて頂いたことになりました。この春こちらの介護学科を卒業したばかりですが、社会人としての自覚を持ち、日々努力していきますのでよろしくお願い致します。

よりよい図書館を
目指して



付属図書館

岡 晃史

四月より、図書館でお世話になっていきます。みなさんの役に立ち、すんで足を運んでもらえる図書館になるよう尽力していきますのでどうぞよろしくお願い致します。

就活と
キャリア支援室



キャリア支援室

横山 雅子

毎日、若く澁刺とした学生の皆さんに囲まれ私まで若々しい気分になります。就活を始める皆さんを少しでもサポート出来るよう努めたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



初心を忘れず、
いつも笑顔で！

育児文化研究センター

川村 みや子

育児文化研究センターの事務として勤めさせて頂いたことになりました。どんなときも、穏やかな心で人と接していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

《平成21年度 人事》

○退職

相談 役	久保田 郁夫
特任教授	倉田 充
特任准教授	植木 存
講師 師	市田 敏之
講師 師	森 和子
講師 師	手嶋 慎介
事務局参事	中湖 喬
事務局次長	黒宮 英二
事務局総務課図書係	秋田 晶子
事務嘱託(旧進路課)	北畠 都和子

○異動

(高田中・
高等学校事務部へ転出)
事務局総務課総務係
青木 陽子

卒業生からの メッセージ

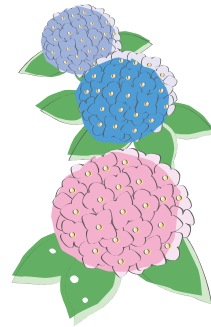
①勤務先 ②就職して嬉しかったこと、
辛かったこと ③将来の夢 ④高田短大
とは ⑤後輩へのメッセージ

自分の生涯の仕事として

昭和54年卒 堀内由香里

①津市立公立幼稚園（これまで七園に勤務しました）②子どもたちと毎日楽しく園生活を送っています。子どもたちの笑顔や成長が私の一番の喜びです。また、大きくなった教え子がいろいろな場で活躍していることや親になって頑張っているという話を聞くことが嬉しくなります。③これからも、健康でずっと仕事が続けられることを願っています。④二年間、たくさん学んで遊んだ場所。今でもクラスの枠を超えた同窓会が開かれていきます。同級生が活躍していたり、頑張っていることを聞いたりすると、とても励みになります。卒業して数十年経ちますが、みんなとてもいい表情をしています。⑤就職すると、自分で時間を見つけ自主研修することが多くなりますが、短大ではその時間が保障されています。短大で学んだことをしっかりと生かしていると思います。また、この仕事を自分の仕事として責任

と誇りを持って、専門性を高め
ていってほしいと思います。



介護福祉士になって

平成20年卒 広瀬智恵美



①四日市社会保険
施設サンビュー
介護老人保健

四日市②ほとんど発語のない利用者へ毎日笑顔で話しかけていたら、表情に変化がみられ、私の手を握りながら声を出していた。ただの時に、介護福祉士になってよかったと思いました。しかし、利用者の死に直面することもあり、自分の無力さを痛感します。③いつも笑顔を保ち、利用者の立場に立つて行動できるように介護福祉士になりたいです。また、施設内の研修制度を利用して、介護に役立つ資格をもっと取りたいと思っています。④介護実習や資格取得などで、あつという間の二年間でしたが、楽しく充実した毎日でした。⑤介護実習は、辛いこともあると思いますが、得ることも多いので、いろいろな経験をしっかりと積んでください。

日々成長！

平成19年卒 大原 唯



①(株)ミエデン
システムソリュー
ション②毎年
企業チームとして津祭りのお祭りに
津よさこいに参加しています。

去年は会社から台湾のお祭りに参加する機会があり、とても貴重な経験をさせて頂きました。最初に苦労した事は「仕事探し」でした。自分で仕事を見つけなければ誰も教えてくれません。必死で自分に出来る事を探しました。③あなたがいてくれて良かった」と思われる素敵な女性になる事です。現状に満足するのではなく常にレベルアップしていきたいです！④オフィス情報学科で学んだパソコンに関するスキルやビジネスマナーはすぐに実践で役立ちました。おもしろい行事や授業がたくさんあり、少人数で学べるので仲の良い友達もすぐに出来ると思えます。校舎までの坂道は大変でしたが、それも今ではいい思い出です。⑤遊び、勉強、バイト、様々な経験はすべて自分自身の魅力に繋がります。多くの事を経験し、楽しい学生生活を送ってください。



公 告 平成20年度における学校法人高田学苑の決算は次のとおりですので、当学苑寄附行為第40条の規定に基づき公告いたします。

貸借対照表 (平成21年3月31日)

(単位：円)

資産の部				負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減	科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	(8,502,316,542)	(8,160,934,902)	(341,381,640)	固定負債	(1,021,243,348)	(229,337,293)	(791,906,055)
有形固定資産	(6,952,312,488)	(6,215,117,825)	(737,194,663)	長期借入金	700,000,000	0	700,000,000
土地	860,411,227	310,500,677	549,910,550	退職給与引当金	321,243,348	229,337,293	91,906,055
建物	5,114,013,468	5,250,235,497	△ 136,222,029	流動負債	(754,691,104)	(829,809,709)	(△ 75,118,605)
構築物	230,184,429	80,748,397	149,436,032	短期借入金	300,000,000	0	300,000,000
教育研究用機器備品	191,151,220	219,147,435	△ 27,996,215	未払金	77,903,237	481,212,416	△ 403,309,179
その他の機器備品	6,589,576	6,929,562	△ 339,986	前受金	299,610,135	277,106,135	22,504,000
図書	198,063,090	193,214,229	4,848,861	預り金	23,208,226	16,023,524	7,184,702
車輛	1,100,000	0	1,100,000	修学旅行費預り金	50,347,506	51,819,634	△ 1,472,128
学苑林	29,919,478	29,919,478	0	卒業諸費預り金	3,622,000	3,648,000	△ 26,000
建設仮勘定	320,880,000	124,422,550	196,457,450	負債の部合計	(1,775,934,452)	(1,059,147,002)	(716,787,450)
その他の固定資産	(1,550,004,054)	(1,945,817,077)	(△ 395,813,023)	基本金の部			
借地権	2,257,500	2,257,500	0	科 目	本年度末	前年度末	増 減
電話加入権	1,285,980	1,285,980	0	第1号 基本金	9,834,569,215	8,797,222,304	1,037,346,911
施設利用権	85,680	95,200	△ 9,520	第2号 基本金	0	425,000,000	△ 425,000,000
有価証券	3,838,498	3,838,498	0	第4号 基本金	150,000,000	150,000,000	0
差し入れ保証金	300,000	350,000	△ 50,000	基本金の部合計	(9,984,569,215)	(9,372,222,304)	(612,346,911)
退職給与引当特定資産	258,490,000	258,490,000	0	消費収支差額の部			
施設設備償却引当特定資産	965,337,500	1,362,643,450	△ 397,305,950	科 目	本年度末	前年度末	増 減
長期大災保険特定資産	314,544,980	313,724,500	820,480	翌年度繰越消費支出超過額	2,447,646,066	1,829,399,313	△ 618,246,753
長期前払金	3,863,916	3,131,949	731,967	消費収支差額の部合計	(△ 2,447,646,066)	(△ 1,829,399,313)	(△ 618,246,753)
流動資産	(810,541,059)	(441,035,091)	(369,505,968)	科 目	本年度末	前年度末	増 減
現金預金	640,997,048	198,843,942	442,153,106	負債の部、基本金の部 及び消費収支差額の部合計	(9,312,857,601)	(8,601,969,993)	(710,887,608)
未収入金	114,752,588	186,723,515	△ 71,970,927				
修学旅行費預り資産	50,347,506	51,819,634	△ 1,472,128				
卒業諸費預り資産	3,622,000	3,648,000	△ 26,000				
前払金	821,917	0	821,917				
資産の部合計	(9,312,857,601)	(8,601,969,993)	(710,887,608)				

就職先一覧

子ども学科 就職先

◆幼稚園(公立)

津市立香良洲幼稚園・新町幼稚園、松阪市立豊田幼稚園、四日市市立笹川中央幼稚園

◆幼稚園(私立)

エンゼル幼稚園、さくら幼稚園、白百合幼稚園、すずか幼稚園、清泉幼稚園、聖ヤコブ幼稚園、津幼稚園、津田幼稚園、道伯幼稚園、ときわ幼稚園、常磐幼稚園、富田文化幼稚園、ふたば幼稚園

◆保育園(公立)

津市立高茶屋保育園・芸濃保育園・白山保育園・安濃保育園・橋南保育園・伊勢市立みのり第2保育園・大世古保育園・あけぼの園・五峰保育園・浜郷保育園・二見浦保育園・大台町立日進保育園・宮川保育園・亀山市立登生保育園・志摩市立下之郷保育園・鈴鹿市立西条保育園・玉城町立下外城田保育園、松阪市立第2保育園

◆保育園(私立)

愛知県厚生事業団昭和荘保育園、あおい保育園、あかつき保育園、あけぼの保育園、伊賀市社会事業協会、石業師保育園、一色保育園、大里保育園、大湊保育園、尾鷲民生事業協会、片田保育園、かわしま保育園、神戸保育園、久保保育園、くまだ保育園、光陽保育園、さくら保育園、さつき保育園、塩浜保育園、志登茂保育園、白塚愛児園、白鳩保育園、清泉愛育園、聖マリア保育園、第三愛護園、高田保育園、津愛児園、津カトリック保育園、第2石業師保育園、つばみ保育学園、トーマスボーヤ保育園、豊野保育園、野登ルンビニ園、野町保育園、ハートビエ保育園、はなこま・豊野・嬉野保育園、東大淀保育園、ひかり保育園、ひので保育園、ひよこ保育園、フジ保育園、

藤水保育園、ほうりん保育園、ほだいじ保育園、松阪仏教愛護園、三重保育院、みそら保育園、みどり保育園、みやま保育園、矢田保育園、ゆたか保育園、若葉保育園

◆施設

熱田小児科クリニック、くわのみ、三鈴会しらす園、聖母の家、津市社会福祉事業団、TOINあーち、のぞみの里、みどり自由学園、ヤナセメイデンケアクリニック、わかたけ萩の里

◆企業

(株)アクアプランネット、孤野厚生病院、シャープビジネスコンピュータソフトウエア(株)、(株)住居時間、坪井歯科医院、中部電力三重支店、中電興業(株)川越電力館、三重中央医療センター、スガキシステムズ(株)

◆進学

追手門学院大学心理学部心理学科、中京女子大学人文学部児童学科、東京スクールオブミュージック渋谷、三重看護専門学校

人間介護福祉学科 就職先

◆施設

伊勢あさま苑、亀寿苑、木もれび、サンビュー四日市、シルバーケア豊壽園、太陽の里、多気彩幸、暖気の苑、津長谷山学園、ピアサポートみえ、ほほえみ、泉園、若葉病院

◆企業

高田短期大学事務局、津安芸農業協同組合、パナソニック電工(株)津工場

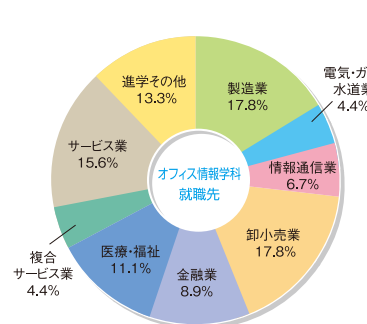
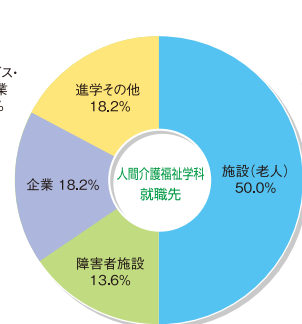
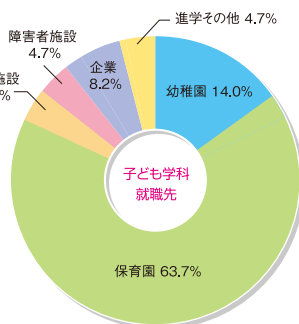
◆進学

中部大学人文学部日本語日本文化学科、名古屋芸術大学音楽部音楽文化創造学科

オフィス情報学科 就職先

◆製造業

(株)トピア、シャープビジネスコンピュータ



同窓会の近況

北端 一子

平成二十一年度がスタートしました。今年度は、私にとって心に残る一年になるのではと考えます。初めて保育園に勤務し、子どもたちの笑顔に支えられて乳幼児教育の道に進みました。

保育園に七年間世話になり、その後、幼稚園勤務になり、保育園に戻って七年目で最後となります。長いようで短かったのかなあ？今まで、たくさんのことを学びました。卒業しても、毎日日常覚える事がいっぱいです。

た。人生全て勉強だと感じました。以前に栗原学長が「どれだけ専門知識や技術が身についても、広い視野でそれをどのような活かせばよいかが考えられなければならない」と言う言葉を思い出します。誰も教えてはくれませんが考える事も勉強ですね。さて、同窓会活動は、役員会を年四回行っています。最大のイベントは、高短祭に会員の皆さんが持ち寄った品物をバザーに出して収益とし、同期生の集まりの補助金に回しています。高短祭に参加して、同窓会をしませんか？少しですが、補助しますので、参加を待っています。

編集後記

皆様のご協力によりまして高田短期大学通信第44号発行の運びとなりました。ご投稿にご協力いただきました各位に感謝申し上げます。今号は紙面を充実し、各学科の特色、学生生活や活動状況等を掲載いたしました。本学の全体像をより詳しくご覧いただき、学生と一体となって活動する「高田短期大学の今の姿」をお届けします。通信へのご意見ご支援を賜りますようお願いいたします。

◆進学

鈴鹿国際大学国際学科、国際ITカレッジ

◆サービス業

イオン(株)中部カンパニー、勝浦御苑旅荘海の蝶(株)エクストラコミュニケーションズ、鈴鹿ストーリーホテル、鈴木克義税理士事務所、太陽商事(株)、多気郡農業協同組合

◆金融・保険業

(株)第三銀行、(株)百五銀行、北伊勢上野信用金庫、(株)ヘルシーファミリー

◆医療・福祉

ニチイ学館、Bees Court、森本歯科医院、ヤナセクリニック、わきたに眼科医院

◆卸小売業

(株)アツミメガネ、(株)三水フーズ、(株)スズキ自販三重、(株)ホンダカーズ